

個別の教育支援計画の作成上の留意点

個別の教育支援計画

1 本人のプロフィール

年 月 日作成

ふりがな		学校名		
氏名		性別	学年	生年月日
住所	・慢性的な疾病、大まかな成育歴を記入する欄。 ・現在の本人の特性を理解する上で重要な情報となるので、保護者の了解の上で、分かる範囲で記入する。 ・家族構成を含め、支援や指導に必要な情報があれば記入する。			
入学前の様子				
診断及び諸検査等の記録	・障害名が分かっている場合は記入する。 ・知能検査（田中ビネー、WISC-IVなど）等の結果を記入する。 ・検査用紙や詳しい分析結果等があれば、添付しておく。 ・特記事項があれば記入する。			

2 合理的配慮

項目	合理的配慮	見直し
	・項目に応じて、本人及び保護者と合意形成を図った合理的配慮について記入する。 ・項目はドロップダウンリストから選択する。 ・必要に応じて行を増やして記入する。 ・計画に基づき実行した結果を評価して、定期的に見直すようにする。 ・本人、保護者と合意形成を図った日にちを記入する。	

3 支援の計画

卒業後の進路希望	本人	・本人及び保護者から聞き取って記入する。本人に発語がなければ、保護者から聞き取る。 ・将来に向けた見通しを記入する。	
	保護者		
関係機関との連携	連携機関	支援内容や所見	連絡先
	・本人が関わっている関係機関からのアドバイス等について記入する。 ・連絡先を明記することで、連携して支援に当たることを心がける。		
次年度への引継ぎ	・継続して行う支援や、再検討する事柄について記入する。 ・関係機関との連携に関して引き継ぐことがあれば記入する。 ・中学校及び進学先への引継ぎは、保護者の同意が必要である。		

保護者の確認
引継ぎの確認

年 月 日

保護者氏名

- ・このページは、毎年更新することを原則とする。なお、追記は随時行う。
- ・保護者との協力のもと、保護者の承認を得て作成する。
- ・個別の教育支援計画を進学先等へ引継ぐ際は、保護者の承認を得て行う。